

■ 高齢者訪問まとめ

守谷市北部地域包括支援センター

訪問期間:令和7年7月1日(火)~令和8年1月15日(木)

(1) 高齢者訪問について

- ・地域包括支援センターに相談するか否か悩んでいた方の相談の切っ掛けとなった。
- ・地域包括支援センターが認識されてきている一方で、防犯意識の高まりから警戒されることが増えた。インターフォン越しでの対応では、訪問の趣旨が伝わらずに強い拒否反応や、チラシ等を投函することさえも拒否される方もいた。
- ・「独居」「高齢者のみ世帯」が訪問対象となっているが、実際には同居人がいる、または子ども世帯が敷地内や隣接地に住んでいるケースが複数見受けられた。これらの世帯については同居家族から協力体制について確認できた。
- ・12月の訪問時、市からの「介護予防日常生活圏域ニーズ調査」の送付時期と重なり、「アンケートを返送したのに、なぜ訪問したのか？」と混乱される方が見受けられた。

(2) 訪問内容について

- ・警察から提供があった詐欺防止チラシを配布し、詐欺の手口や防止策について説明を行った。また、季節に応じて熱中症予防チラシ、フレイル予防のための食事や運動・口腔ケアのチラシを用いて幅広く周知を行い、認知症の普及啓発のティッシュを配布した。
- ・過去の訪問記録や支援履歴をもとに訪問を実施し、現状の生活上の困りごとや外出手段・頻度などについて再度確認を行った。その上で、生活支援が必要な場合、地域のサービスや支援機関への案内を行い、必要なサポートを提案した。

(3) 民生委員との連携について

- ・民生委員との連携に努めていたが、今年度同行訪問は2件に留まった。
- ・民生委員に対して対象者不在時の状況確認を3件依頼した。その結果、対象者が元気に過ごしていることを間接的に把握できた。

(4) 再訪問について

- ・フォローA(至急対応):1件
独居で体調面に不安あり、介護保険申請・緊急通報サービス申請のため。
- ・フォローB(再訪問1か月以内):4件
認知機能低下や体調面の確認、介護保険申請のため。
- ・フォローC(再訪問3か月後):2件
認知機能低下の疑いあり、生活状況の確認及び同居家族の体調確認のため。

・フォローD(再訪問 6 か月後程度):2 件

認知機能低下の疑いあり、日常生活に支障が出ていないかどうか確認のため。

(5) 次年度に向けて

① 高齢者訪問の内容について

今後高齢者人口の増加に伴い、訪問対象者が増加すると予測されるものの、他業務との兼ね合いで人手不足が懸念される。訪問の前に可能な範囲で情報収集を行い、訪問の必要性や緊急度を見極めて対応していきたい。

② 訪問体制について

訪問は可能な限り 2 名体制での訪問活動を継続し、複数の専門職がアセスメントを行い、必要な支援につなげていけるよう努めていく。

③ その他の課題と対応

民生委員との同行訪問した数は、昨年度と比較し伸び悩んだ。今後、同行訪問のケースを他の民生委員と共有を図り、連携の強化をしていきたい。

アウトリーチ型の訪問については、防犯意識の高まりから警戒心が強くなっている現状からも訪問方法について考えていく必要がある。しかしながら現場に赴き、訪問でしか得られない情報も多くあり、民生委員や地域住民との繋がりを一層深めながら訪問活動をすすめていきたい。